

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

弊社はSDGsに全力で取り組み、住宅関係における断熱等級の引上げ、「断熱等級6. 7. 8」への推奨を行う事それが私達の存在意義であると定義付け、目標である「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」を掲げ、電気使用料を削減し、CO₂削減に貢献をしていく。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	【デジタル化】 ・見積書や請求書のデジタル化における紙の削減 【個人情報管理】 ・顧客情報のオンライン化。	・購入紙の15%以上の削減 2023年1000枚➡2026年750枚 ・クラウドサイン等の活用 2023年35件➡2026年110件 ・顧客情報をセキュリティサーバーにて管理。 2023年5社➡2026年60社
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【若者、社員の確保】 ・基本給UPや離職防止	・給与について 2023年2%UP➡2026年10%UP ・賞与について 2023年1年2回賞与➡2026年1年2回賞与、決算賞与
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	【労働安全衛生】 ・勤務、業務中での労災事故など0件の継続	・労働安全衛生に係る事故0件 2023年0件➡2026年0件

<パートナーシップ>

工務店、ハウスメーカーと協力し、断熱等級の引上げの活動により良い快適かつ、省エネな暮らしが出来るよう活動を行っている。

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。